


入院診療計画書(腹式腫瘍切除術を受けられる方へ)

ID番号 @PATIENTID 氏名 @PATIENTNAME 様 病棟 @PATIENTWARD 病棟 @PATIENTROOM 号室  
 病名(他に考える病名) 症状  
 担当医師 @USERNAME 担 担当看護師 担当薬剤師 @SYSDATE

月日	月 日	月 日	月 日	月 日~ 月 日	月 日~ 月 日	月 日~ 月 日	月 日~	
経過	手術前日 	手術当日 手術前 手術後		手術後1日目	手術後2~3日目	手術後4~6日目	手術後7日目	手術後8日目~
目標	手術の準備ができる。	<手術にいくまでの流れ> <input type="checkbox"/> 麻酔科医師の指示の内服があれば服用します。 <input type="checkbox"/> パンツ以外の下着を脱いで病衣に着替えてください。 <input type="checkbox"/> 化粧やマニキュアを落としてください。 <input type="checkbox"/> 血栓予防のストッキングを着用します。 <input type="checkbox"/> 義歯、眼鏡、時計、ヘアピン、指輪を外してください。 <input type="checkbox"/> 貴重品を家族の方に渡してください。 <input type="checkbox"/> 髪の長い方はヘアゴムで束ねましょう。		痛みがあれば、スタッフに伝えることができる	体調に合わせて動くことができる	身の回りのことが少しずつできる		
検査	診察、超音波検査があります。	手術後採血があります。		採血があります。		<input type="checkbox"/> 手術後6日の朝に採血と尿検査があります。 <input type="checkbox"/> 手術後6日目の午後に尿管損傷の有無を調べる検査があります。(お昼は絶食でお待ち下さい)		<input type="checkbox"/> 退院診察、超音波検査を行います。
処置	禁煙を続けてください <input type="checkbox"/> 入浴します。 <input type="checkbox"/> 点滴をとりまします。 <input type="checkbox"/> 医師が腕に名前を書きます。 <input type="checkbox"/> 手術準備品の確認をします。 <input type="checkbox"/> 19時頃に下剤を内服します。 <input type="checkbox"/> 血栓予防のストッキングのサイズを合わせます。			<input type="checkbox"/> 手術室から膀胱留置カテーテルを入れたまま戻ります。 <input type="checkbox"/> 翌日朝まで酸素吸入を行います。 <input type="checkbox"/> 背中から痛み止めの管が入ってきます。 <input type="checkbox"/> 血栓予防のためのマッサージ機を足に装着します。	<input type="checkbox"/> 朝に酸素吸入を終了します。 <input type="checkbox"/> 医師が創部の確認をします。 <input type="checkbox"/> 歩けるようになるまでは血栓予防のマッサージ機を継続します	<input type="checkbox"/> 歩行が可能になったら膀胱留置カテーテルを抜去します。 <input type="checkbox"/> 背中からの痛み止めの管は術後2日目の夜19時に抜きます。	<input type="checkbox"/> 医師が創部の確認をします。	<input type="checkbox"/> 医師が創部の確認をして必要時処置を行います。 <input type="checkbox"/> 術後7日目に抜鉤が必要な方は抜鉤を行います。
観察	検温、検脈、血圧測定を行います。	朝6時頃に検温、検脈、血圧測定を行います。	手術後は随時検温、検脈、血圧測定と創部や腫からの出血がないか確認します。	適宜検温、検脈、血圧測定を行い、傷や腫からの出血がないかを見ます。また痛みや吐き気、排ガスの有無などを確認します。痛みや吐き気などの症状があるときは我慢せず看護師に言ってください。				
注射	午前中に点滴をします。		手術室から点滴をしたまま病室へ戻ります。手術後、抗生剤の点滴をします。	<input type="checkbox"/> 朝と夜に抗生剤の点滴があります。 <input type="checkbox"/> 夜21時~血栓予防の注射をします。(術後5日目の朝まで夜21時・朝9時と1日2回注射を行います)	手術後4日目まで点滴があります。(状態に応じて、点滴が追加になる場合があります。)			
内服	普段内服している薬はいつも通り内服してください。 ※内服しているお薬は、入院時に看護師に提出してください。	医師の許可があるまで薬は中止になります。		水分開始後から痛み止めの内服が始まります。持参薬がある方は医師の許可後に内服開始となります。				<input type="checkbox"/> 次回受診まで必要な分の薬が処方されます。
食事	朝から何も食べられません 食事に関するアレルギーなどがあれば相談してください。アクアファンを飲みます。	水分は( )時以降はとらないでください。	水分開始後から痛み止めの内服が始まります。持参薬がある方は医師の許可後に内服開始となります。	医師の指示により水分、食事が開始になります。開始後はむせりや吐き気がないか確認しながら摂取してください。				
行動	活動、入浴に制限はありません。	時 分頃手術室へ移動します。	手術後は病室へ戻ります。帰室後はベッド上で動くことが可能です。 ※創が痛い時や気分が悪い時は我慢せずに看護師に教えてください。お薬を使います。	午前中に着替えと清拭をします。立ちましよう 足踏みましょう 歩きましょう	シャワーの許可がでるまではタオルで体を拭きます。どんどん歩きましょう。	初めて歩行するときは、看護師が付き添います。術後早期に歩いた方が、回復もはやくなりますよ!!		職場復帰、旅行などは医師に相談してください。
説明	<input type="checkbox"/> 医師より手術についての説明があります。(手術同意書の提出をお願いします)。 <input type="checkbox"/> 看護師から入院生活や手術についての説明があります。 <input type="checkbox"/> 麻酔科医師、手術室看護師が訪室します。	<ご家族の方へ> 病棟内でお待ちください。病棟から離れるときは待機場所を看護師にお知らせください。	<ご家族の方へ> 手術後医師より手術結果についての説明があります。看護師より手術後の処置や安静度について説明があります。	体を拭きます	看護師より便秘予防の説明があります。		創の保護について看護師より説明があります。	医師より退院の説明があります。看護師より退院後の生活について説明があります。退院時には次回外来予約票・退院証明書が渡されます。

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。  
 注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。 福島県立医科大学附属病院 バス承認番号 (No.218) 承認月日 (平成27年10月27日)

特別な栄養管理の必要性	上記内容について説明を受け同意いたしました。	署名:	続柄:
有 . 無			

不安なことがあれば病棟や外来にお電話ください。  
 ■婦人科外来 024-547-1226  
 ■みらい棟4階東病棟 024-547-1629